

2 教育・生涯学習を推進します

- 児童生徒が抱える悩みや問題を解決するため、「スクールカウンセラー」を増員。
- 注意欠陥・多動性障がいなどを持つ児童生徒を支援するため「特別支援教育支援員」を充実。
- 新学習指導要領の実施に伴い、児童生徒が実験や観察学習ができる環境整備を図るための理科備品の充実。
- 安全で快適な教育環境のため、小学校のトイレ洋式化、小中学校の暖房機の更新、各種改修工事及び小学校の耐震改修を推進。
- 白二小校舎本体工事の着手及び屋内運動場・プールの実設計策策定。
- 中央中改築に向けた基本構想策定。
- 表郷幼稚園整備に向けた検討会の実施。
- 釜子小、表郷公民館、聖ヶ岩ふるさとの森の方向性等を検討する委員会の設置。
- 来年4月開館に向けた、新図書館を含む多目的複合施設の整備。
- 白河市出身で、昨年の院展で文部科学大臣賞を受賞した今井珠泉先生の作品を展示する企画展等の開催。
- 陸上競技場管理棟の整備に向けた設計やしらさかの森スポーツ公園のテニスコートの改修を実施。
- 小峰城跡や借宿廃寺跡及び野地久保古墳の国史跡指定に向けた手続きを推進（7月ごろに指定される見込み）。

学校生活が安全に送れるようにお願いします！

教育

Education



産業

Industry



農産物のブランド化や新たな商品開発をお願いします！

1 産業を振興し、雇用を確保します

- 県の基金を活用して、農商工連携等に基づく産業・商品の創出を目指す企業や新規事業者を支援。
- 県の基金活用による雇用機会の創出。
- まちづくり会社等が計画している街なかの再生及び商店街の活性化を推進するための「中町蔵活用事業」や「旧農協会館跡地などへの集合住宅の整備」への支援。
- にぎわいの創出と交流の拠点となる「白河駅前イベント広場」の整備に向けた設計に着手。
- 多様化するニーズに柔軟に対応するため、「白河観光物産協会（仮称）」を設立し、JR白河駅構内に観光案内所を兼ねた事務所を設置。
- 白河関の森公園の新たな利活用策として「花の里」を整備。
- 国の米の戸別所得補償制度導入により補助額が減る一部転作作物へ市独自の助成を実施。
- 将来の農業が安定かつ持続的なものになるよう、個から集落組織への経営転換の必要性が高まっていることから、従来の「元気集落等応援事業」を充実させた「しらかわ型集落営農」を推進。
- 農業の人材育成のため、後継者のネットワークづくりや研修、アグリスクールを開催。
- 従来からの本市独自の農産物ブランド化や新たな商品開発などで、農商工連携に積極的に取り組み、農業の6次産業化を推進。

◎特集

施政方針

Administrative Policies

坂の上の雲を目指して

白河市がこれからも発展していくためには、地域にある資源を大切にするとともに、それに磨きをかけ、その力をさらに引き出すことが重要です。そのためには、中長期的な視点に立って、未来の白河を担う人材の育成や歴史・文化の継承、産業の振興などに取り組む必要があります。また、市全体の均衡ある発展とあわせて、現下の景気低迷や経済の落ち込みなど、目の前にある課題にも取り組む必要があります。これらに対応するための予算編成を行いました。

今後も、市民の皆さんの声に耳を傾け、それを市政に反映させるとともに、市民生活の安定と活力ある地域社会の実現に努めます。

今月号では、平成22年度に市が取り組む主な事業についてお知らせします。

